

132 都上りの歌

132:1 主よ。ダビデのために、彼のすべての苦しみを思い出してください。

132:2 彼は主に誓い、ヤコブの全能者に誓いを立てました。

132:3 「私は決して、わが家の天幕には入りません。私のために備えられた寝床にも上がりません。

132:4 私の目に眠りを与えません。私のまぶたにまどろみをも。

132:5 私が主のために、一つの場所を見だし、ヤコブの全能者のために、御住まいを見いだすまでは。」

132:6 今や、私たちはエフラテでそれを聞き、ヤアルの野で、それを見いだした。

132:7 さあ、主の住まいに行き、主の足台のもとにひれ伏そう。

132:8 主よ。立ち上がってください。あなたの安息の場所に、おはいらください。あなたと、あなたの御力の箱も。

132:9 あなたの祭司たちは、義を身にまとい、あなたの聖徒たちは、喜び歌いますように。

132:10 あなたのしもべダビデのために、あなたに油そそがれた者の顔を、うしろへ向けないでください。

132:11 主はダビデに誓われた。それは、主が取り消すことのない真理である。「あなたの身から出る子をあなたの位に着かせよう。

132:12 もし、あなたの子らが、わたしの契約と、わたしの教えるさとしを守るなら、彼らの子らもまた、とこしえにあなたの位に着くであろう。」



132:13 主はシオンを選び、それをご自分の住みかとして望まれた。

132:14 「これはとこしえに、わたしの安息の場所、ここにわたしは住もう。わたしがそれを望んだから。

132:15 わたしは豊かにシオンの食物を祝福し、その貧しい者をパンで満ち足らせよう。

132:16 その祭司らに救いを着せよう。その聖徒らは大いに喜び歌おう。

132:17 そこにわたしはダビデのために、一つの角を生えさせよう。わたしは、わたしに油そそがれた者のために、一つのともしびを備えている。

132:18 わたしは彼の敵に恥を着せる。しかし、彼の上には、彼の冠が光り輝くであろう。」

ダビデが自分のことを第3者の視点で表しているようです。ダビデは主への熱心さを表し、その決心を固くしています。「ヤコブの全能者のために、御住まいを見いだすまでは」自分だけ安らぐことなどしないという決心です。

その時主は「これはとこしえに、わたしの安息の場所、ここにわたしは住もう。」と言ってください。私たちの生活、スケジュール、人間関係、財産の使い方において、主の場所を作り出しましょう。必要なときにその決心をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

